

JVCKENWOOD



A challenge

新卒採用



JVCケンウッド
会社案内

Co-Creation



Ingeniousness



E

JVCKENWOOD

JVCケンウッドは、長い歴史を持つ日本ビクターとケンウッドが2011年10月に合併し、誕生致しました。日本ビクターは1927年設立から、蓄音機をはじめ、テレビ、ビデオカメラ、音響機器、光ディスクなどの研究・開発・製造・販売を手がけてきました。一方ケンウッドでは、高周波コイル、家庭用オーディオ機器、カーナビゲーション、無線通信機器などの事業を行って来ました。



オートモーティブ分野 Automotive Sector

量販店や代理店などを通じてお客様に商品を提供する「アフターマーケット事業」と、自動車メーカー/ディーラーを通じて商品を提供する「OEM事業」があります。OEM事業の中には、ディーラーオプションとして提供する製品を扱う、用品ビジネスと、車メーカーと共同で特定車種向けに専用の設計を行う、純正ビジネスに分かれております。カーナビゲーションやドライブレコーダーなど、映像や音響、通信の技術を活かしたソリューションやサービスを通じて安心・安全で快適な車社会への貢献をめざしていきます。

JVC KENWOOD Victor

この2つの会社の合併により誕生したJVCケンウッドは、私たちの強みである「音」「映像」「通信」技術を最大限に活かし、オートモーティブ、パブリックサービス、メディアサービスの3つの分野で**企業ビジョン「感動と安心を世界の人々へ」**を実現していきます。



パブリックサービス分野 Public Service Sector

「公共安全」と「ヘルスケア」を主な領域として取り組みを進めています。公共安全領域では、「無線システム事業」にて、業務用無線システムやアマチュア無線機器などを手がけており、世界各国の警察・消防や、電気・ガスといった市場へ、信頼性の高い無線システムの提供を行っています。また、監視カメラや業務用音響システムなどを展開する「業務用システム事業」をグループ会社が手がけています。「ヘルスケア事業」では、医用画像表示用モニターや、手術室映像ソリューションへ本格参入をするなど、ヘルスケア分野における総合的な映像事業を展開していきます。視線計測装置や、光ディスク技術の応用によるがんの早期診断システムなどによって、社会課題の解決を図っていきます。



メディアサービス分野 Media Service Sector

私たちの強みである「映像」と「音響」技術の自家本元であり、メディア事業とエンタテインメント事業で構成されています。「メディア事業」では、プロフェッショナル分野のニーズに応える高精細ビデオカメラや産業用映像システム、コンシューマー向けのビデオカメラ、ヘッドホンやオーディオなど当社が長年培ってきた映像・音響技術を活かした機器を展開しています。「エンタテインメント事業」ではビクターエンタテインメントを中心とし、コンテンツビジネスや受託ビジネスを手がけています。当社の事業を通して人々に「感動と安心」を提供していくと共に、私たちのもつブランドを活用し、価値向上を図ります。

Automotive Sector

オートモーティブ分野

中村 功大 Kodai Nakamura [2013年入社]

▶ 私の仕事について

リヤビューカメラ、ドライブレコーダー等の車載カメラ製品のソフトウェア開発を行っています。

▶ 職場の雰囲気

笑い声がよく聞こえる明るい職場で、皆さん和気あいあいと仕事をしています。上司、先輩は良い方ばかりで、疑問に思ったことはすぐに教えてもらえますし、風通しの良い職場なので、意見も言いやすく、のびのびと働くことができる環境だと思います。また、やる気さえあれば若手でも重要な仕事を任せてもらえるので、技術者として成長できる環境でもあると思います。

▶ 仕事のやりがい、醍醐味

自分が開発している製品が完成して、発売された時にやりがいを感じます。開発時には多くの課題に直面し、日々悩みながら業務に取り組んでいますが、その課題をチームメンバーと協力して乗り越え、実際に発売され、CM等で宣伝されたり、町中で実際に使っている人を見かけた時は、開発時の辛かったことを忘れるぐらい嬉しいです。



ソフト
設計

Public Service Sector

パブリックサービス分野 ヘルスケア

金井 花 Hana Kanai [2018年入社]

▶ 私の仕事について

医療用モニターの海外向け販促物作成、在庫管理などを行っています。

▶ 職場の雰囲気

ヘルスケア事業は当社の新規事業ではありますが、モニター事業部門は唯一医療業界に長く携わってきた部門です。キャリア的にさまざまなバックボーンを持つ人が多いのですが、現在の事業部を背負っている部門なので、プライドを持って業務に取り組むストイックな雰囲気です。学ぶことが多く、先輩方の優しいサポートのおかげで日々自分の成長を感じています。

▶ 今後チャレンジしてみたいこと

医療業界で、外部のプロフェッショナルやドクターと意見を交換しながら進めるような仕事をしてみたいです。そのために必要なスキルは、ビジネスシーンで通用する英語、医療イメージングやヘルスケアITの知識や出荷業務の経験です。貿易と医療業界のエキスパートである先輩方の背中を追いかけながら、自分の能力を尖らせていきたいです。



海外
営業

Corporate

ソリューション開発

高橋 雄大 Yudai Takahashi [2013年入社]

▶ 私の仕事について

新規事業の事業化を目指した取り組みや、社内での新規事業の創出を目指した環境づくりに邁進しています。

▶ 仕事のやりがい、醍醐味

仕事を通じて沢山の人たちとつながることです。他部署の方や社外の関係者を巻き込んだり、普段の仕事とは異なる話を聞いたり、これまで生まれなかったアイデアが出てきたりして、次のアクションに繋がっていく事に楽しさややりがいを感じます。人とのつながりの積み重ねが、今後のキャリアにおいても大きな力になるのだと感じています。

▶ JVCケンウッドの強み

私の思う当社の一番の強みは、「こだわりをもった人材」です。会社としての平均年齢は高めですが「高齢化」が進んでいると一見見られますが、逆を言えばベテランが多く、ノウハウを持っている先輩方が非常に多い。これから入社される若手の新鮮な意見・アイデアを組み合わせることで、会社としても今後面白いことができるのではと感じています。



本社
スタッフ



機構
設計

Media Service Sector

メディアサービス分野

濱田 亜希 Aki Hamada [2016年入社]

▶ 私の仕事について

イヤホンの商品開発です。生産性・実用性・耐久性等を考慮し、顧客満足度の高い製品となるよう力を入れています。

▶ JVCケンウッドを選んだ理由

私には、両親の好きな「音楽」に関わる仕事をする事で尊敬の意を伝えたいという思いがありました。不安だらけの就活でしたが、面接に思い残すこともなく、伝えたいことは面接官が全部引き出してくれました。この会社なら、入社してから意見に耳を傾けてくれて、自分が関わる新しい商品で両親を喜ばせられると思いました。

▶ 身についたスキルで一番良かったもの

専門分野である機構設計の考え方だけでなく、電気設計や量産化の観点も考慮しながら設計する力を身につけられました。現在は先輩方や生産現場の協力を得て、ものづくり全体の課題予測から、設計品質の向上を目指しています。また、機械工学を学んできた者として、ものづくりの現場での金型確認は、学生時代には経験できなかった仕事の楽しみでもあります。

先輩社員の声

当社の各分野で活躍する若手社員に、JVCケンウッドを選んだ理由、職場の雰囲気、仕事のやりがい、醍醐味など、それぞれの想いをインタビューしました。



Public Service Sector

パブリックサービス分野 無線

星野 雄彦 Takehiko Hoshino [2016年入社]

▶ 私の仕事について

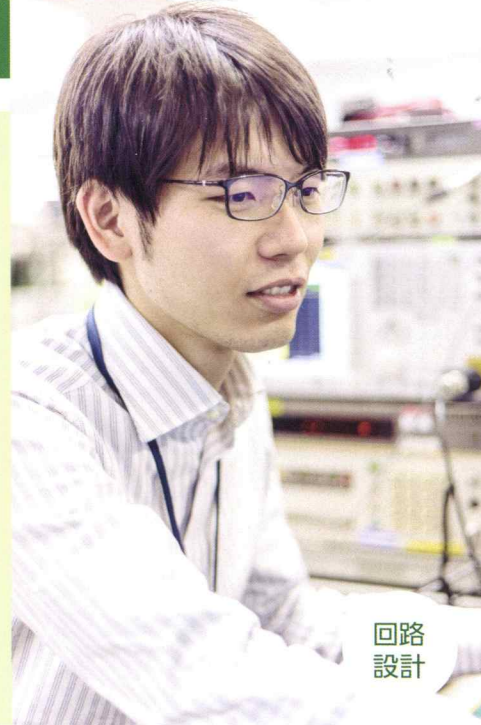
業務用無線機の高周波回路設計を行うチームにおいて、発振器の設計を担当しています。

▶ JVCケンウッドを選んだ理由

幅広い分野で多くの人の安心と安全に貢献していることに魅力を感じたからです。医療関連機器を手掛けていたことがきっかけでJVCケンウッドを知りましたが、企業研究を進めていく中で無線機やセキュリティカメラ、ドライブレコーダーといった分野での事業展開を知り、多くの人の安心や安全に関わる仕事に携わりたいという私の志望にあっていると考えJVCケンウッドを選びました。

▶ 仕事で一番うれしかったこと

初めて自身の設計した回路で要求通りの性能を出せた時です。現在私が担当している回路は類似した設計事例がほとんどなく、手探りの状態からのスタートでした。幾度となく問題にぶつかりましたがそのたびに試行錯誤を重ね、最終的に試作された回路において、要求性能を妥協することなく出した時には、達成感と同時に技術者としての自身の成長を感じることができ大変うれしかったです。



回路
設計

Automotive Sector

オートモーティブ分野 OEM

山本 和樹 Kazuki Yamamoto [2016年入社]

▶ 私の仕事について

自動車会社のディーラーで販売されているナビやドライブレコーダーの、生産・販売・在庫の数量管理です。

▶ JVCケンウッドを選んだ理由

中学生のときに初めて買ったヘッドホンが、当時Victorのアームレスヘッドホンでした。元々音楽や映像が好きな私にとっては縁のある企業でありブランドであると感じていました。また就職活動をする際、大事にしていたことは「自分が誇りを持って働ける企業」であることでした。会社説明会にて、いきいきと自らの業務を語られる先輩方にも魅力を感じ、この会社で働きたいと思うようになりました。

▶ 今後チャレンジしてみたいこと

現在は、ディーラーで販売される製品の数量管理を行っています。今後はお客様へ提案もできるような仕事にチャレンジしていきたいです。そのために、ビジネスにおける経験値を積み、自らアンテナを張り巡らし、トレンドからアイデアを連想することが大事だと思っています。経験値やアイデアが実を結び日に備えて、日々の業務に取り組んでいきたいです。



国内
営業

Public Service Sector

パブリックサービス分野 無線

尚 巧寧 Kounai shou [2016年入社]

▶ 私の仕事について

事業環境や競合他社の調査を行い、自社分析に基づいて、事業の中長期戦略を形にする仕事です。

▶ JVCケンウッドを選んだ理由

音づくりに興味を持ったことがきっかけで、海外と関わりの多い仕事をしたいことが大きな理由です。JVCケンウッドは世界中の多くの地域へビジネスを展開しており、半分以上が海外の売上です。また、地域毎の文化背景によって市場環境が異なっており、いろいろ未知な市場に対して勉強することができる面白さがあるため、入社を決めました。

▶ 職場の雰囲気

非常に風通しがよく、自分の意見をしっかりと聞いてくれ、若手でも活躍できる職場です。周りに長年働いているベテラン社員がたくさんおり、サポートをしていただいています。部署内のチームワークがとても高いと感じ、日々自分の成長を実感できる雰囲気のいい職場です。



事業部
スタッフ

Automotive Sector

オートモーティブ分野

早尾 翔汰 shota Hayao [2016年入社]

▶ 私の仕事について

市販/OEM向けドライブレコーダーの機構設計、品質評価を行っています。

▶ 職場の雰囲気

コミュニケーションが盛んな職場だと思います。機構設計グループということもあり、CADを使ったモデリングや作図など、個々で進めていく仕事もありますが、それ以上に率先してコミュニケーションを取っていかないと進まない仕事が多くあります。私はコミュニケーションが得意ではないですが、このような雰囲気の中、先輩方のフォローもあり効率よく業務に取り組んでいます。

▶ 仕事のやりがい、醍醐味

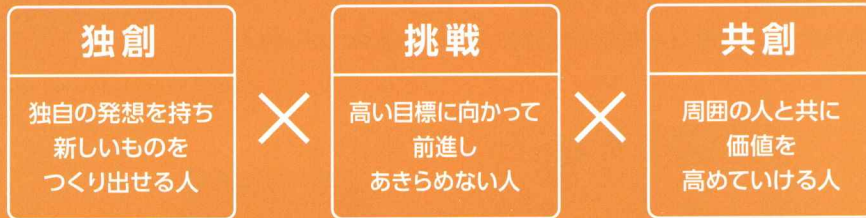
自分のアイデアを具体的に形に出来ることです。どんなに小さな部品でもその形状一つ一つには必ず意図があり、そこには各設計者の思いが反映されています。それらの部品が一つの製品として組み上がった時には気持ちが高揚しますし、今までの苦労が報われます。自分の作ったものを直接目で見ることができ、触れることができる点がこの仕事の醍醐味だと思います。



機構
設計

求める人材像

主人公となって行動を起こせる人



仕事紹介

技術系職種

先行技術開発	ソフトウェア設計・開発
回路設計・開発	機構設計・開発
生産技術	品質保証

スタッフ系職種

国内営業	海外営業
事業部スタッフ	本社スタッフ

採用情報

■ 初任給

基本給 (2018年度)	
修士了	235,500円
大卒	211,500円
高専卒	186,500円

■ 諸手当

時間外勤務手当、家族手当、住宅手当、通勤手当等

■ 昇給

年1回(4月)

■ 賞与

年2回(6月、12月)

■ 勤務時間

9:00-17:45 (フレックスタイム制)

■ 休日休暇

完全週休2日制(土・日)、祝日、年間休日127日(2019年度)、連続休暇(GW、年末年始など)、年次有給休暇、慶弔休暇

■ 福利厚生

独身寮、各種社会保険、退職金・年金制度(確定拠出年金制度あり) 育児・介護支援制度、財形貯蓄制度 従業員持株会制度、社員優待販売制度

■ 勤務地

本社・横浜事業所(横浜市神奈川区)
八王子事業所(八王子市石川町)
白山事業所(横浜市緑区)
久里浜事業所(横須賀市神明町)
その他国内外各拠点

JVCKENWOOD

株式会社 JVCケンウッド
採用担当

問い合わせ先

〒221-0022
神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12
TEL …………… 045-450-4567
URL …………… <http://www.jvckenwood.com/recruit/fresh/>
E-mail …… recruit@jvckenwood.com

